

平成27年度 日置市財務諸表(普通会計)

バランスシート

地方公共団体におけるバランスシートとは、これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産とその資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したものです。ここでいう資産とは、行政サービスを提供するために活用できる財産のことです。

資産 1211.2億円
現在、市が保有する資産の総額

道路や学校など市の施設や市有地の総額

出資金や積立てた基金などの総額

現金・預金、現金化しやすい市税など未収金の総額

【住民の財産】
1. 公共資産 1089.3億円
2. 投資等 66.7億円
3. 流動資産 55.2億円

負債 349.1億円
将来支払わなければならない金額

資産形成のための地方債や退職手当などの総額

【将来世代の負担】
1. 固定負債 316.5億円
2. 流動負債 32.6億円

純資産 862.1億円

道路や学校整備など財源として受けた、国や県からの補助金・市税などの総額

【現世代の負担】
資産形成のためすでに支払った額

バランスシートの比較(対前年度)

資産	6.6億円増	負債	1.3億円増
		純資産	5.3億円増

資産増の要因…基金保有等の増加
負債減の要因…ローン性資産の減少

住民1人あたりのバランスシート(対前年度)

資産	244.0万円 (0.8万円減)	負債	70.3万円 (0.8万円増)
		純資産	173.7万円 (2.5万円増)

※平成28年3月31日現在の住民基本台帳
49,639人で算定

行政コスト計算書

行政コスト計算書(民間では損益計算書)とは1年間の行政サービスのコストとその対価を表したものです。行政コストを種類別に区分して、行政サービスを提供するために、人や物等にどれだけコストがかかり、それに対する収入はどれくらいあるのかを把握できます。

①経常行政コスト 216.6億円
行政サービスを提供するためのコスト

1. 人にかかるコスト 38.8億円
2. 物にかかるコスト 67.6億円
3. 移転支出的なコスト 107.4億円
4. その他のコスト 2.8億円

②経常収益 7.1億円
行政サービスの直接対価としての収入

1. 使用料・手数料 4.6億円
2. 分担金・負担金・寄附金 2.5億円

③純経常行政コスト(①-②) 209.5億円
※純資産変動計算書の純経常行政コストと一致

※移転支出的なコストとは、扶助費、他団体への補助費、他会計への繰出金などです。

【前年度との比較】

①経常行政コスト 13.7億円増加 ②経常収益 0.6億円減少 ③純経常行政コスト 14.3億円増加

行政サービスにかかる
収支

道路や学校などの整備
にかかる収支

投資・財務活動の資金
の収入と支出

①経常的収支	53.9億円
②公共資産整備収支	△15.0億円
③投資・財務的収支	△36.5億円
当年度の資金増減額	2.4億円
前年度末の資金残高	7.5億円
今年度末の資金残高	9.8億円

資金収支計算書(=キャッシュフロー
計算書)とは、1年間の自治体における
収入と支出を性質別に分類して、支出
と財源の関係など資金の流れをみたも
のです。

1年間の資金の変動額

【前年度との比較】

- ①経常収支 … 3.0億円減少
- ②公共資産整備収支 … 5.0億円増加
- ③投資・財務的収支 … 3.9億円増加
- 収支全体 … 5.9億円増加

・プライマリーバランス 0.5億円
(対前年度 0.9億円増加)

※プライマリーバランスとは、地方債の新たな借入と返済を除いた収支
のバランスを表します。

純資産変動
計算書

純資産変動計算書とは、
バランスシートの純資産の
部が1年間でどう変動した
のかをみたものです。

① 前年度の純資産残高	856.8億円
② 純経常行政コスト	△209.5億円
③ 経常収入	217.8億円
④ 臨時損益	△3.3億円
⑤ 上記以外	0.3億円
⑥ 今年度の純資産残高	862.1億円
(バランスシートの純資産合計と一致)	

行政サービスにかかった
費用

地方交付税や地方税など

災害などで臨時にお金が
必要だった

【前年度との比較】

- ②純経常行政コスト … 14.3億円増加
- ③経常収入 … 増減なし
- ④臨時損益 … 2.9億円増加
- ⑤上記以外 … 0.5億円増加
- ⑥純資産残高 … 5.3億円増加

財務諸表4表からわかること

○流動比率は169.7%となっており、流動資産合計が流動負債合計を上回っています。

※流動比率 … 1年以内に支払う金額への資産の余裕度(流動資産合計/流動負債合計)
健全な運営には100%~150%以上必要とされます。

○資産に占める公共資産の金額が多いことから、建物の修繕・建替などで将来にわたり多額の負担が予想
されます。

平成27年度 日置市財務諸表(連結)

バランスシート

資産 1406.6億円
現在、市が保有する資産の総額

【住民の財産】

- 1. 公共資産 1256.3億円
- 2. 投資等 62.3億円
- 3. 流動資産 88.0億円

負債 424.3億円
資産形成のために使われた金額

【将来世代の負担】

- 1. 固定負債 384.8億円
- 2. 流動負債 39.5億円

純資産 982.3億円

【現世代の負担】

資産形成のためすでに支払った額

行政コスト計算書

①経常行政コスト 428.9億円
行政サービスを提供するためのコスト

- 1. 人にかかるコスト 44.0億円
- 2. 物にかかるコスト 87.5億円
- 3. 移転支出的なコスト 289.7億円
- 4. その他のコスト 7.7億円

②経常収益 136.7億円
行政サービスの直接対価としての収入

- 1. 使用料・手数料 5.1億円
- 2. 分担金・負担金・寄附金 91.7億円
- 3. 保険料 23.7億円
- 4. 事業収益 14.2億円
- 5. その他 2.0億円

③純経常行政コスト(①-②) 292.2億円
※資産変動計算書の純経常行政コストと一致

資金収支計算書

- ①経常的収支 59.5億円
- ②公共資産整備収支 △20.6億円
- ③投資・財務的収支 △37.5億円

当年度の資金増減額 1.4億円

前年度末の資金残高 80.6億円
今年度末の資金残高 82.2億円

① 前年度の純資産残高 970.9億円

- ② 純経常行政コスト △292.2億円
- ③ 経常収入 303.6億円
- ④ 臨時損益 △3.3億円
- ⑤ 上記以外 3.3億円
- ⑥ 今年度の純資産残高 982.3億円
(バランスシートの純資産合計と一致)

純資産変動計算書